

中国の高校生たちがやってくる！																																		
科目名	中国語	作成日	2012.11.30	作成者	須田美知子																													
学年／年次	－	クラス人数	－	使用教科書と課	－																													
話題分野	学校生活	言語レベル	2	必要時間数	8時間																													
Ⅰ 単元目標																																		
中国の高校生を迎えての交流会に向けて、自分の学校を紹介するスライドショーを作り、交流会で上映する。準備の過程で中国の高校生活について理解を深めることで、当日の交流をより有意義なものにすることができる。			<table><tr><td></td><td>言語</td><td>文化</td><td>グローバル社会</td><td>学習者</td><td>教室外</td><td>他教科</td></tr><tr><td>わかる</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>できる</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>つながる</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	わかる							できる							つながる						
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科																												
わかる																																		
できる																																		
つながる																																		
言語領域		文化領域		グローバル社会領域																														
◆学校生活について口頭または書いてやりとりすることができる。 ◆中国の高校のホームページを見て理解することができる。 ◆学校生活を写真やイラスト、地図で紹介するスライド作品として制作し、交流会で発表することができる。 ◆携帯電話の録音機能を使って教師の発音を聞き、読む練習をすることができる。		◆中国の高校生活を調べることから、どんなところにスポットを当てたら中国の高校生に興味を持ってもらえるかを考えて進めることができる。 ◆日中の学校生活の相違点について、背景にある要因を考察することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。		◆中国の教育制度や高校生の意識調査について調べ、日本のそれと比較することができる。(知識理解) ◆中国の高校生活をインターネットで調べることができる。(情報活用) ◆携帯電話のカメラ機能を使って学校生活を撮影し、PCに取り込むことができる。(情報活用) ◆学校紹介文を読んで、それを携帯電話の録音機能を使って録音し、PCに取り込むことができる。(情報活用) ◆スライドショーに仕上げるとき、共同作業者と得意分野を分担し合って進めていくことができる。(協働) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。																														
コミュニケーション能力指標	【学校生活】 1-a.学校の名前や所在地(都道府県や市など)を言ったり書いたりできる。 1-f.授業やクラブを担当している先生(名前、性別、担当科目やクラブ、出身地など)を口頭で紹介することができる。 2-a.学校内のどこに何があるか(げた箱、教職員室、体育館、プール、保健室など)について、口頭でやりとりできる。 2-b.学校の簡単な概要(共学、中高一貫、全校/クラスの生徒数、男女別人数、時間割など)を説明した、簡単な資料を作ることができる。 2-c.休み時間や放課後の過ごし方(クラブ活動、生徒会活動、清掃など)について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。 2-d.学校のスケジュール(1日、週間、年間)について、口頭でまたは書いてやりとりできる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。																																	
	Ⅱ 評価																																	
学習を助けるための評価（形成的評価）			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)																															
◆中国の高校のホームページを探し、グループで分担して、辞書を使いながら、大意を掴む。グループごとに発表しあう。(理解度、協力、発表のポイントなど) ◆学校を紹介するのに必要な語彙、表現を拾い出し、ワークシートに書き込む。(量が十分か、ポイントを絞っているか、表記が正しいか、まとめ方が分かりやすいかなど) ◆日本人生徒と中国人生徒の役になって、学校生活について質疑応答を練習する。(自他の学校の情報を踏まえているか、発音や表現が分かりやすいか、コミュニケーションストラテジーを適切に使っているかなど)			◆学校生活を紹介するスライドショーを作成する。(中国の高校生活との比較の視点、写真や資料の効果的な使い方、独創性、内容構成、分かりやすさ、協働など) ◆交流会で質疑応答する。(事前準備が十分か、相手の質問に大使臨機応変に答えられたか、積極的な態度で臨んだかなど)																															

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
◆中国の高校のホームページを探し、グループで分担して、辞書を使いながら、大意を掴む。グループごとに発表し合う。 ◆中国の高校のホームページも参考にしながら、学校の施設名、クラブや課外活動、時間割の科目名、行事名、学校を紹介するのに必要な語彙、表現を拾い出し、ワークシートに書き込む。 ◆ワークシートの文が答になるような質問文を考え、二人一組でそれぞれ中国の高校生と日本の高校生の役になって、日本の学校の生徒に学校生活を尋ね、答える練習をする。 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	<場面状況> 新日高校では、中国から来日する高校生を迎えて交流会が開かれる。中国語を学んでいる生徒たちは中国語での学校紹介を担当することになった。今後も中国からの来訪者のために使えるように、紹介はその場限りでなく短いスライドショーのような形にまとめることにした。 <活動の流れ> クラス全体で自分の学校のことをどのくらい知っているか、進行役を立てて日本語で質問し、みんなで確認し合う。来日する中国の高校生の出身地やその高校生活について情報を収集し、自分たちの学校の生活との共通点、相違点について分析し、ポイントを整理する。 二人一組になり、学校の場所や学校の特徴、学校生活、先生や授業など、どんな内容を紹介するかを考え発表する。他のグループの発表も聞いて、ぜひ中国の高校生に紹介したいのはどんな項目か、わかりやすかったのはどの作品かなどを話し合う。よかったところをつなぎ合わせた、クラスとして、理想的な学校紹介の台本を1本制作する。 学校紹介をするときに必要な単語や文型をもとにできるだけ自力で中国語に直し、台本作りをする。教師の添削を経て台本を完成させ、台本が読めるようになったら録音し、スライドショーの音声として使う。学校の中がわかるような地図・イラストを作成し、学校生活の様子を写真に撮る。それらの地図やイラスト、写真などを組み合わせてスライドを仕上げる。 スライドショーを見た中国の高校生から出てくるであろう質問を想定し、中国語の回答を用意する。また、事前に話し合った日中の高校生の共通点や相違点について、中国の高校生に直接確かめるための中国語の質問を用意する。 交流会では制作したスライド作品を、プロジェクターを使って上映する。その後、質疑応答を行い、交流を深める。交流会後、クラスで振り返りをし、スライドショーを理解してもらえたか、内容が十分かつ適切だったか、改善の余地があれば交流会後に改善して、保存版とする。	
<使用教材・教具> カメラや録音機能付き携帯電話、または、ICレコーダー、デジタルカメラ、プロジェクターなど		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<表現> 大家好/欢迎来到我们学校 / 首先介绍一下…… / 这是我们的校园的全景 / 我们学校有…… / 一年有三个学期 / 四月开学 / 运动会在……举行 / 有……个学科 / 第一节从……点开始 / 这是我们的数学老师，他叫…… / 怎么样？等等。 <表現のポイント> ～在＋場所 / 場所＋有～ / ～在哪儿？ / ～有什么？ / ～有多少～？ / ～是～、日時＋有～ / ～很＋形容詞 /	場所、学科名、科目名、クラブ名、施設名、学校にいる人の名前、身分、学校行事名などに関する語彙。	<事象> ◆高校生の学校生活 ◆来校した高校生の住んでいる地域 ◆中国の教育制度や受験競争 <事象のポイント> ◆中国の高校の科目名や始業時間、授業時間に着目する。 ◆日中の高校生の学校生活や日常生活を比較することで、その共通点や相違点を発見する。 ◆中国のある都市が有名な大都市のどの辺りに位置するのか、その場所が自分の学校のある所とどのくらい離れているか、どんな交通手段でどのくらい時間がかかるのか調べる。 ◆全入時代と違って中国の受験競争が激しい。それによる勉強への姿勢や学校生活への影響を考える。
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
中国の高校生、中国の学校のホームページ		

授業	主な学習活動	留意点など
1回目 プレ活動	・中国と日本が分かる地図を使って日本と中国の位置関係を確認する。 ・夏休みに来日し学校を訪れた中国の高校を紹介し、その学校がどこにあるのか地図を使って示す。自分たちの町も地図で示す。 ・それぞれの近くにある有名な都市をみんなで考えながら確認する。 ・その都市の名前や既習の「～から～まで～で～かかります」を使って発音練習し、語彙を覚える。「～はどこですか」を使って場	
2回目 プレ活動	・PCで中国の高校のホームページを探し、どんな科目を勉強しているか、学校生活の時程、行事などを調べる。 ・自分の学校との相似点、相違点を話し合う。 ・どんなことを紹介したら中国の高校生に興味を持ってもらえるかを考え、発表する。 ・用意した単語カードから場所を表す言葉/学科名/科目名/クラブ名/施設名/学校にいる人/学校行事などを紹介する。	
3回目 プレ活動	・既習の「～在＋場所」「場所＋有～」「日時＋有～」を使って、自分の学校を説明する。その際、学校紹介パンフレットを使ったワークシートに書き込む。 ・既習の「～在哪儿?」「～有什么?」を使って会話練習をする。	
4回目 プレ活動	・二人一組になり、中国人役は質問、自分の高校の生徒役は答えるロールプレイをする。 ・スライドで学校紹介をするために必要な写真や資料を考えて、次回までに用意する(宿題)。	
5回目	・学校を紹介する写真や資料をPCに取り込む。 ・取り込んだ写真や資料に合うナレーションの文を作る。 ・ナレーションの文にピンインを付け、それを提出するとともに、各自読めるように練習する。 ・時間外に教師は模範朗読をし、生徒はそれをレコーダーに録音し、聞いて練習する。	
6回目	・資料と台本を構成して、約2分間のスライド作品に仕上げる。	
7回目 発表会	・スライド作品を上映し、感想を述べ合う。 ・採点表を配布し、自分たちで他のグループの作品を評価する。 ・よい部分を組み合わせて1本の作品にするためにはどこを使ったらよいか話し合う。	
8回目 仕上げ	・できるだけみんな参加して自慢の作品に仕上げる。	